

# 平成29年度第1回始良市地域公共交通会議 議事録

|     |        |
|-----|--------|
| 記録者 | 馬場 真の輔 |
|-----|--------|

|     |  |     |                 |
|-----|--|-----|-----------------|
| 日 時 | 平成29年5月16日(火)  | 時 間 | 午後1時30分～午後2時35分 |
| 場 所 | 始良市役所本庁 2階大会議室   |     |                 |
| 出席者 | 笹山市長、久保田委員、傳委員、吉崎委員【代理出席】、益満委員、西森委員【代理出席】、林委員、西委員、佐藤委員、中原委員、前田委員、上間委員【代理出席】、福永委員、徳永委員、竹田委員、山口委員、野口委員、古市委員、若月委員、小野委員、仮屋委員【代理出席】、柳鶴委員、恒見委員、福留委員、松元委員、上山委員、竹下委員、増田委員、田之上委員<br>事務局：地域政策課、社会福祉課 |     |                 |
| 議 長 | 会長 笹山 義弘(始良市長)   |     |                 |
| 資 料 | 事前配布資料<br>・会次第<br>・資料1：平成28年度始良市地域公共交通会議事業報告<br>・資料2：平成28年度始良市地域公共交通会議決算報告<br>・資料3：平成28年度始良市地域公共交通会議監査報告<br>・資料4：コミュニティバス路線変更について<br>当日配布資料<br>・別紙資料1：コミュニティバス路線変更について                     |     |                 |
| 傍聴者 | 1人   |     |                 |

## 会議内容

(会次第)

1 開会

2 委嘱状交付

代表者 始良市社会福祉協議会 事務局長 小野氏へ交付。

3 会長あいさつ

4 議事(協議事項)

- ① 平成28年度始良市地域公共交通会議事業報告について  
 事務局が資料1に沿って説明。  
 ⇒委員からの質疑なし。承認。

② 平成 28 年度始良市地域公共交通会議決算報告について  
事務局が資料 2 に沿って説明。  
⇒委員からの質疑なし。承認。

③ 平成 28 年度始良市地域公共交通会議監査報告について  
監査委員（山口委員）より監査報告。  
⇒委員からの質疑なし。承認。

④ コミュニティバスの路線変更等について

I 蒲生巡回バス（大山・白男線）路線延長について

事務局が資料 4 に沿って路線の変更点について説明。

**上山委員** 市道の道路管理者として現地を確認したところ、集落はバス停から急勾配をあげたところであり、事務局の提案のとおり路線を延長することが望ましいと考えている。しかし、懸念となる事項がいくつかある。

1 点目は、急勾配の途中で急カーブの箇所である。幅員はあるためバスの運行は可能であると考えられるが、道路が凍結した場合は非常に危険となる。そのため、凍結防止等の対策が必要となる。

2 点目は、バスの転回場所の選定である。現在、予定している箇所よりも数百メートル先に進んだ林道との接合付近のほうが、見通しがよく広いため望ましいのではないかと。

**林委員** 蒲生巡回バスの運行事業者として、先日始良市の地域政策課の方と現地を確認した。その後、実際に運行バスを試験的に運行させた。そのところ、急勾配かつ急カーブであるため厳しいところもあったが、運行は可能であった。

また、バスの転回場所であるが、予定箇所ですら十分可能であった。上山委員より提案の箇所は、道路面が盛り上がり車体を傷つける可能性があるため、予定箇所での転回をさせていただきたいと考えている。

**傳委員** 今回、新設バス停の利用する世帯数及び利用者の見込みを教示して欲しい。また、通院・買い物が主な利用目的となると考えられるが、どの曜日が通院で、どの曜日が買い物での利用が多いのかも教示してほしい。

**事務局** 集落の世帯数は 7 世帯であり、平均年齢は 80 歳を超えている。誰が利用しているかまでは把握していないが、バスの運行日にあわせて通院や買い物をしている状況であるため、集落での利用率は高いと考えられる。

また、上山委員より懸念事項としてあった冬場の凍結対策であるが、凍結するような場合は、既存のバス停までの運行とする。そのため、既存のバス停は残し、坂をあげた集落付近へバス停を新設するというところで運行事業者である南国交通株式会社とは協議しているところである。

**益満委員** 警察として、現地を確認した。地域住民にとっては今回の路線延長は必要なものであると考えている。しかしながら、急勾配かつ急カーブ地点においては高齢者の転倒等の車内事故がないよう利用者へは注意喚起を特にしていただきたい

い。

**会 長** 議案Ⅰ 蒲生巡回バス（大山・白男線）路線延長について、承認してよろしいか。  
⇒異議なし。承認。

## Ⅱ 蒲生巡回バス（米丸・柊野線）路線変更について

事務局が資料4に沿って路線の変更点について説明。

**上山委員** 現行利用している市道町通線は非常に幅員が狭いため、事務局提案の新コースの方が安全性から考えると望ましいと考えられる。

**林 委 員** 蒲生バス停は県道伊集院・蒲生・溝辺線と県道川内・加治木線と2箇所ある。今回、新設バス停として乗降が可能であるのは県道伊集院・蒲生・溝辺線の蒲生バス停である。  
承認され、実際に運行となる際には、利用者への周知をしていただき、勘違いをされる方がないようお願いしたい。

**益満委員** 現地確認をしたところ、道路も広く見通しも現行よりも新コースの方が良くなる。また、新コースは通行量の多い道路であるが、バスの運行により問題が生じる可能性はないと考えている。

**会 長** 議案Ⅱ 蒲生巡回バス（米丸・柊野線）路線変更について、承認してよろしいか。  
⇒異議なし。承認。

## Ⅲ 蒲生巡回バス（米丸・柊野線）フリーバス新設について

事務局が資料4に沿ってフリーバスの導入箇所について説明。

**上山委員** 現地を確認したところ、湯之前バス停～米丸バス停区間は距離にして約750メートルあるが人家がないため、こちらの区間はフリーバスを新設しなくてもよいのではないかと。

また、平原バス停～米丸上バス停区間についてであるが、その区間は約700メートルある。平原バス停から約500メートルの間には人家がなく、そこから米丸上バス停までの約200メートルの間に人家が4件ほど存在している。そのため、平原バス停～米丸上バス停区間はフリー乗降ではなく、平原バス停から500メートルほど先の箇所にバス停を新設するほうが望ましいのではないかと。

**前田委員** 湯之前バス停～平原バス停は道路幅員が広い。それゆえに、老人が道路を横断することによる交通事故等が懸念される。

**事 務 局** 2年前にフリー乗降を導入した際にも、自治会長等を通じて地域住民にはフリーバスの注意点を記載したチラシを配布し、交通安全等に関する注意喚起を行った。今回も、同様に地域住民には注意喚起を行ったうえで新設する予定である。

**林 委 員** 今回、フリー乗降導入予定区間には南国交通の自主運行路線も重複している

が、自主運行路線にはフリー乗降を導入しない予定である。このことを地域住民に周知していただきたい。

**益満委員** バスを降りた直後に道路を横断等による運行中の事故については十分に気をつけていただきたい。見通しはよいが、運行中の速度に気をつけていただきたい。

**会 長** Ⅲ蒲生巡回バス（米丸・柘野線）フリーバス新設については、委員の皆様のご意見から湯之前バス停～米丸バス停には人家がないためフリー乗降を導入せず、米丸バス停～米丸上バス停区間にのみ導入ということで承認してよろしいか。  
⇒異議なし。承認。

#### Ⅳ 加治木循環バス（上木田地域）フリーバス新設について

事務局が資料4に沿って、フリーバスの導入箇所について説明。

**上山委員** 今回の導入区間は朝夕の通勤の利用が多く、その時間帯は通行量が多い。また、道路の田畑に面したレーンが下り斜面となっている。事務局提案の隈姫神社前バス停～加治木温泉病院前バス停区間のすべてにおいてフリー乗降を導入することは望ましくないと考える。  
事務局提案のようにあらかじめおおよその乗降場所を決めた形でのフリー乗降の導入がよいのではないか。道路沿いにある用水路に蓋を設置すれば、十分に乗降場所は確保できる。

**西委員** 今回、事務局提案のフリー乗降は通常のフリー乗降とは異なり、乗降場所を決めた形式となっている。また、抜け道として利用され通過する自動車も速度がある。そのため、乗降予定場所の地域住民への周知だけでなく、道路面にペインティングを施して、乗降場所が分かるようにしていただけないか。  
フリー乗降を導入するにあたり、利用者がバスの通過する直前まで物陰でバスを待っており、運転手が気付かずにそのまま通過してしまうことがある。そのため、利用者には予定時刻の少し前までには乗降予定場所で待機することを周知してほしい。

**会 長** Ⅳ加治木循環バス（上木田地域）フリーバス新設について、承認してよろしいか。  
⇒異議なし。承認。

#### ⑤ その他

##### (ア) 今後の日程について（報告）

事務局より、次回の始良市地域公共交通会議を10月頃開催予定であり、日程が決定次第、改めて通知をする旨を説明。

(イ)平成 29 年度の実施事業について（報告）

事務局より、平成 29 年度の実施予定事業について説明。

- ・公共交通の利用促進に向けたワークショップの開催について
- ・乗継情報等の充実化を図るためのアプリ開発について
- ・バス料金の統一化について

(ウ)災害時における対応及び市報掲載について（報告）

事務局より、災害時におけるバスの運行状況を市HPや防災メールのみだけでなくコミュニティFM「あいびゅーFM」を活用していくこと及び公共交通の特集ページを始良市報5月号に掲載したことを報告。

⇒(ア)～(ウ)について質疑なし。了承。